

## 平成30年度 第6回小平市公民館運営審議会 会議要録

- 1 開催日時 平成31年1月22日(火) 14:00~16:00
- 2 開催場所 小平市立小川西町公民館 ホール
- 3 出席者 小平市公民館運営審議会委員 11名  
事務局 中央公民館長、館長補佐兼事業担当係長、管理担当係長、  
分館担当係長 8名
- 4 傍聴者 なし
- 5 配布資料 (1) 平成30年度 小平市公民館定期講座実施状況表・・・資料1  
(2) 平成30年度 東京都公民館連絡協議会 職員部会 報告・・・資料2  
(3) 平成30年度 東京都公民館連絡協議会 委員部会 報告・・・資料3  
(4) 平成31年度 小平市公民館事業計画(案)・・・資料4  
(5) 小平市公共施設マネジメントニュース・・・資料5  
(6) 平成30年度第5回小平市公民館運営審議会 会議要録・・・資料6
- 6 次第 (1) 館長報告  
(2) 平成30年度 小平市公民館定期講座実施状況について  
(3) 東京都公民館連絡協議会 職員部会・委員部会報告について  
(4) 平成31年度 小平市公民館事業計画(案)について  
(5) 自主研修会の議題について  
(6) その他

### 会議の概要

#### 1 館長報告

##### (1) 公共施設マネジメントの進捗状況について

市では、中央公民館を含めた市役所周辺エリアの老朽化した、福祉会館・健康事務センターとの複合化、及び小川西町公民館が入っている西部市民センター・元気村おがわ東の小川駅西口再開発ビルの公共スペースへの機能移転について、それぞれ並行して同時期に建設することから一体的に検討を進めている。そこで、昨年6月から、市民意見交換会や、グループワークによる市民の皆様からご意見を伺う機会として、中央と小川エリアで、3月までそれぞれ6回

ずつ開催し、柔軟な発想で様々なアイデアのご提案をいただける。

また、今月からは、近隣の小・中学校への出前授業や、利用団体・利用者へのヒアリング、駅頭アンケートなど、様々な方法で市民の皆様のご意見を伺う予定である。

本年10月には、これらの市民参加などを経て、次世代につながる新しい公共施設に関する基本計画を策定し、設計に進む予定である。

従来の公共施設建設に係るスケジュールでは、基本計画や基本設計を策定したうえで、そのフレームの中で市民の皆様のご意見を伺ってまいりましたが、次の世代につながる市民の皆様に愛着を持ってご利用していただくためには、市の方針等をご理解いただくとともに、市民参加により皆様のご意見がより反映されることが重要であり、不可欠であるとの考えのもと、今回、小平市としても初めての取組として、かなり早い段階から市民の皆様のご意見を伺う場を設け、共に進めている。

是非、委員の皆様も市民参加の場にご参加いただき、次世代に向けた公共施設、公民館を一緒に作り上げていただきたい。

なお、次回の中央・小川デザインカフェの日程は、2月17日日曜日で、中央は午前10時から12時、小川は午後2時から4時を予定している。

## 2 平成30年度小平市公民館定期講座実施状況について

資料1のうち、新しい取り組みについて、事務局より説明した。

- ・文化・教養講座「男女の特性について」（小川公民館）
- ・ジュニア講座「なかまちテラスティーンズ委員会」（仲町公民館）

(質疑応答)

委員 講座のアフターフォローをしっかりと実施していくことが、次の講座を企画する時に役立つのではないかと考えている。この定期講座実施状況表は、事業企画委員会にも情報共有されているか。

事務局 中央公民館では、まず事業企画委員会企画講座の実施状況を報告する。また、講座が終了していれば、参加人数や参加者の感想なども報告している。その際、当初の目的が達成できたのか、課題があったのかなどについても報告している。各分館においても、同様の報告がされている。

委員 全ての事業企画委員に情報が共有されるといいのではないかと思います。

委員 小川公民館と仲町公民館の防災・生活安全講座の反響はどうだったのか。

分館長 仲町公民館の防災・生活安全講座「あなたと大切な人の命を守る」について、30人

の応募があった。1回目の講師は、テレビにも出ている防災アドバイザー、2回目の講師は、阪神淡路大震災の被災者の方と市内の防災士の方から、いざ災害が起きた時の対応についての話を伺った。3回目は災害時の簡単な料理を実施し、3回の内、2回以上出た人が修了となり26人であった。3回目は料理の後グループワークを行った。活発な意見が出て、地域として防災意識の高さを感じた。大変好評であったと感じている。

会 長 小平市は水害や山崩れなどはないので、災害については、意識があまり高くないのではないか。講座の集客もあまりないように思うし、花小金井北・花小金井南公民館について、来年度防災講座があるようだが、2つの分館が一緒に一つになって地域全体の防災が考えられたらいいと思う。各館、少人数で実施するより、2つの館で1講座を実施した方が良くはないかという1つの提案である。

委 員 自治会は、年に2回ほど消防署の人を呼んで防災訓練を行っている。被災したとき公民館に避難してくる人もいるかもしれないが、一般的には防災というと自治会でやっているのではないか。

委 員 自治会に入っていない人もいる

委 員 公民館で防災講座を実施することは、意義があると思う。

分館長 小川公民館は、20人募集して10人応募だった。そこで、近隣の自治会に声を掛けたところ、日程が合わない、自治会で実施しているのでいい、ということだった。

委 員 自治会の新年会では、挨拶の時、必ず防災の話が出るが、具体的ではない。何かあったときどうするのかと思う。

委 員 台風シーズン、災害が起きた時、防災に意識が向く時など、時期を考えて講座を実施すると関心が高まって良いのではないか。

分館長 今年度、上水南公民館では、地震に特化した防災講座を実施した。全5回であったが、9月1日の防災の日の前後で実施したところ、ジェイコム取材を受けた。また、地域にお住まいの自治会の元消防庁職員の方に講師を依頼したり、災害時の料理の作り方、防災危機管理課の職員によるマンホールトイレの設置、避難所運営ゲームなどを実施した。参加者は15人ほどであった。私からも、3.11の時、小平で唯一、避難所として開設した小平第六小学校の地区隊長をしていたので、その際の話もさせて

いただいた。

会 長 中央公民館でも防災講座を実施しているが内容はどうか。

事 務 局 中央公民館としては、内容は広くなると思うが、立川にある防災館に行くなどした。定員には満たなかったが、参加者は満足していたようである。

委 員 参加した方は満足していただけているが、集客はできていないということか。

事 務 局 防災関係の講座について、受講者は少ないが地域の課題解決という視点では、必要な講座だと思っている。各館の事業企画委員の中には、自治会の方もメンバーになっているので、地域の方と連携して今後も実施していきたいと考えている。

委 員 防災をテーマにした講座について、集客は難しいかもしれないが、実施することが大事だと思う。分館で集客に苦勞するのであれば、毎月、中央公民館で啓発的な講座や展示などを実施すれば良いのではないか。中央公民館でいつも実施しているという形でも良いのではないか。

会 長 このような意見を今後参考にさせていただければいいと思う。

委 員 小川公民館の文化・教養講座「男女の特性について」の受講者が少ないとのことだが、昨年度の中央公民館のタイムリー講座「思春期の子どもとの向き合い方～親にできること～」を受講したが、子どもたちとの向き合い方としてとても良かった。学校支援コーディネーターなどからの口コミで受講者が集まったようだが、今回も同じ講師なので、広報の工夫をして、学童クラブや学校関係者に情報が伝わるようにしてもらいたい。

委 員 小川西町公民館では、パソコン等講座のチラシが掲示してあり、募集締切後には「満員御礼」と書かれていた。このように表記することで この講座の人気があることが分かって良い。さらに、他の館で同じような講座をやっているのか、いつやっているのか、今後ある講座の案内なども合わせて知らせると良いと思う。

- 3 東京都公民館連絡協議会職員部会・委員部会報告について  
事務局より資料2、委員より資料3について説明した。

#### 4. 平成 31 年度 小平市公民館 事業計画（案）について

事務局より資料 4 について説明した。

（質疑応答）

- 委員 公民館創立 70 周年記念事業について、目に見えることとして、各分館に 70 周年だということが分かるようにすると良いのではないか。また、チラシやポスターにも、70 周年だということが分かるようにすると良いと思う。
- 会長 70 周年記念事業については、公民館運営審議会としても、利用者懇談会等連絡協議会とも協力していきたい。
- 委員 特別な予算は確保しているのか。
- 館長 謝礼や消耗品等の内容で予算要求している。また、公民館運営審議会や利用者懇談会等連絡協議会をはじめ、様々な方からの意見を伺い、多様な主体との協働の取り組みにより進めていきたい。
- 委員 9 ページの第 2 の 1（3）について、定期講座受講修了者による自主的な継続学習のためのサークル・団体づくりを支援する、とあるが、全ての講座からサークル化することは難しいと思う。現在、どのくらいサークル化しているのか。
- 館長 全ての講座について、サークル化を目指しているわけではない。対象者や講座内容に応じてである。事業実績には掲載しているが、昨年度は、119 コース実施したが、18 コースでサークル化した。
- 委員 なかなか、活動場所の確保が難しいという話を聞くがどうか。
- 館長 会場の確保について、サークル化したばかりの時期は、ある程度そのサークルが軌道に乗るまでは、サークル支援の一環として会場の確保など手厚く支援している。分館の場合は、定期利用団体となる場合もあるが、既存のサークルとのバランスを考慮しながら調整を図っている。
- 委員 中央公民館のジュニア講座のジュニア大学について教えてほしい。
- 事務局 子どもの頃から地元に関心を持ち、地元へ愛着を持つための地域学習を主眼として、平成 28 年度から実施している。また、ここ 2 年は、地域との連携を図る視点から、

武蔵野美術大学との連携を図りながら実施している。

- 委員 目標、推進事項ともに素晴らしいと思っている。この目標や推進事項を実際に進めるには、職員の力量が問われると思うが、分館では分館長と嘱託職員がこれを担うことになる。職員や嘱託職員の人材育成については、どう考えているか。
- 館長 公民館が、コミュニティづくりや市民との協働を目指す中で、公民館職員にはコーディネート能力やファシリテート能力が求められている。全ての公民館に事業企画委員会を設置し、運営していく中で、職員の必要とする能力が育まれていくものと捉えている。
- 委員 10月の公民館運営審議会の自主研修会のようなワークショップ形式の講座で、事業企画委員会や利用者懇談会等連絡協議会、職員や嘱託職員、利用者も横並びで学べる研修があれば、地域の方の力量が上がって良いと思う。
- 委員 地元である多摩や小平の歴史を感じられるような講座をぜひお願いしたい。また、音楽会でも小平らしいものをお願いしたい。
- 委員 新規サークルの支援については記載されているが、既存サークルの支援が少し足りない気がする。
- 館長 サークルの活性化が課題の一つであるという認識はある。来年度の70周年記念事業では、多くのサークルからアイデアを募り、利用者懇談会等連絡協議会などともタイアップして既存サークルの支援につなげていきたい。また、市民学習奨励学級について、ここ数年は力のある団体が選考されてきたが、来年度は見直しをして、課題を抱えるサークルや立ち上げて間もないサークルを優先する選考方法を考えている。
- 委員 推進事項の中に、既存サークルの支援が入っていると良いと思った。
- 会長 オリンピック・パラリンピック事業を小学校と連携して行っているようだが、中学校での取り組みはどうか。
- 委員 各中学校にオリンピック・パラリンピック担当の教員がいて、花小金井南中学校では2学期に元オリンピック・パラリンピックの選手を呼んで、実技と講演を実施した。また、直接関係はないが、早稲田大学のボランティア活動を実践している方を呼んで、ボランティアとはどういうことがあるかという講演を実施した。

- 会 長 公民館と中学校とのコラボについてはどうか。
- 委 員 中学校では国際理解、障がい者理解、部活で強化選手を呼ぶなど、ダイレクトにオリンピック・パラリンピックにつなげて、考え方を学んでいるので、公民館のように地域との関連性を持たせることは難しいと思う。
- 委 員 小平市で、オリンピック・パラリンピックの選手を受け入れるという予定はないのか。
- 館 長 小平市の動きとしては、今のところ聞いていない。なお、公民館としては、国際理解講座は引き続き行い、多文化共生につながるきっかけづくりを提供していきたいと考えている。
- 委 員 7ページの3オリンピック・パラリンピック気運醸成事業の実施の5つの項目について説明してほしい。
- 館 長 1のスポーツレクリエーション体験イベント及び2の地域支援講座は中央公民館で実施の予定である。3の国際理解講座は中央公民館、学校連携編は中央、上宿、花小金井南公民館で実施の予定である。4の語学講座は、小川公民館の文化・教養講座「オリンピックに向けての語学講座」、花小金井北公民館の文化・教養講座「ハングル語、文化を学ぼう」、花小金井南公民館の文化・教養講座「旅する中国語」、仲町公民館の地域支援講座「オリ・パラ前年として英語で小平の魅力を紹介」、鈴木公民館の地域支援講座「英語の歌を楽しむ」を実施する予定である。5のその他は、分館での健康づくり講座等の中で、東京都からの補助金を活用し、ニュースポーツやボッチャなど、パラリンピックの公式種目を体験しながら、障がい者への理解を進めていく内容で実施する予定である。
- 委 員 日本に居住する外国人のうち、英語が通じる外国人は2割と言われている。今、国際交流協会などは、やさしい日本語を日本人に学んでもらって、外国人に話す方が通じると考えている。そのため、単発でもいいので、取り上げたら良いと思う。
- 館 長 来年度の講座内容は固まっているが、ご意見ご要望があるということを受け止めたい。
5. 自主研修会の議題について
- 会 長 2月の自主研修会について、どのような意見交換会を行ったらよいのか意見をいただ

きたい。10月の研修会は、「魅力ある公民館講座とは」と題して、グループワークで話し合った。今回もグループワークで実施したいがどうか。なお、参加者は公民館運営審議会委員、全館の事業企画委員、利用者懇談会等連絡協議会委員で、人数は30人くらいかと思う。

委員 幅広い、誰でも発言しやすい、間口の広いテーマを置いたらどうか。小平の公民館が今どういう状況で、どういう課題があって、どういう方向に向かったらいいか、できるだけ参加者が発言しやすいようにしたらどうか。

委員 みんな公民館を良くしたいという気持ちは一緒だと思う。ただ、最初の入り口は大事である。

委員 他の2つの会に参加を呼び掛ける時に、その2つの会が公民館運営審議会に期待していることは何なのか知りたい。逆に公民館運営審議会から2つの会に聞きたいことを出さないと、ただ集まってもうまくいかないのではないか。双方から意見（テーマ）を出しておいて、それを当日議論するようにしてはどうか。

委員 事業企画委員や利用者懇談会等の意見を集約する場が大事と感じている。

委員 いきなりではなく、予備的な相談する日を設けてはいかがか。

委員 予備日は賛成だが、時間をとれないだろう。お互いを知らない。今回は公民館運営審議会の研修会なので、公民館運営審議会はどういうことをして、過去にどういう答申を行ったかということ、会長・副会長で考えて、文書で相手方にお知らせして考えておいてもらってはいかがか。その中で、何が期待できるのか、どうやって公民館運営審議会と関われるのかについて、あらかじめ考えていただく。

委員 その場で説明されても分からないと思うので、事前に資料を渡しておくのは良いと思う。

委員 利用者懇談会等連絡協議会の問題など、会の中では解決できないようなことを吸い上げて、建設的な意見を研修会等において職員を含めて話していったらいいのではないか。

委員 利用者懇談会等連絡協議会でよく議題にあがる議題はあるか。



- 委員 各分館の抱えている問題を話し合い、協議会の会則を変えた。研修会の中で協議会から報告もあるだろう。
- 委員 意見を聞いて、参加者と話し合う形式なのか。一つのテーマというわけではないのか。
- 委員 2時間のうち、最初の1時間はワークショップ形式でいろいろ話し合っ、その後発表し合い、最後の30分で全体で話し合っはいかがか。
- 委員 10月も5つぐらいのグループで公民館運営審議会委員がリーダーになってまとめて、1時間話し合い、その後発表、全体会と進んだ。今回もこの形がいいのではないかと考えている。今回も公民館運営審議会委員にリーダーになって欲しいと考えている。30人ぐらいなら5つぐらいのグループに分けたい。
- 委員 詳細は三役に任せてもらって、中央公民館にも相談しながら、なるべく早くお知らせしたい。

#### 6. その他

2月3日、東京都公民館研究大会について確認した。

次回は、平成31年3月19日（火）午前10時から中央公民館にて開催する。